

鳥取にふたたび舞い降りる奇跡の夜  
芸術の都・パリから届く豪華絢爛な音の華

とりぎん文化会館  
梨花ホールリニューアル記念事業

# パリ管弦楽団

鳥取公演



©William Beaucardet

©Patrice Nin

2020.  
**10.23** [金]

開場 18:15 開演 19:00 終演予定 21:00

とりぎん文化会館 梨花ホール

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5

指揮: トウガン・ソヒエフ

ピアノ: ルーカス・ゲニューシャス

ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番 二短調 作品30  
プロコフィエフ: バレエ音楽「ロメオとジュリエット」抜粋

全席指定

SS席 | 20,000円

S席 | 15,000円

A席 | 12,000円 (U22: 6,000円)

B席 | 7,000円 (U22: 3,500円)

※就学前のお子様はご遠慮ください。無料託児サービスをご利用ください。 ※U22は、公演当日に22歳以下の方(席数上限あり)。入場の際は、身分証明書等の提示が必要です。 ※車いす席は、A席価格となります。介添席が必要なお客様、その他公演鑑賞に際してサポートが必要な方は予めお問い合わせください。

チケット取扱い

●一般発売/5月23日(土)10:00~ ●先行販売/4月25日(土)~ ※詳細は裏面へ  
とりぎん文化会館、倉吉未来中心、アルテプラザ(米子天満屋4F)、鳥取県文化振興財団インターネット・チケットサービス  
ローソンチケット【Lコード:61906/座席指定不可、財団友の会プレミアム会員特典対応なし】

お問い合わせ

とりぎん文化会館 TEL/0857(21)8707  
受付時間/9:00~21:00 休館日/第2・4・5月曜日(休祝日の場合は、その翌日)

無料託児サービス  
【要予約・定員あり】

満1歳から  
小学校2年生までの  
お子様が対象

申込締切

**10月11日(日)**

主催 / (公財)鳥取県文化振興財団、BSS山陰放送 特別後援 / 新日本海新聞社

後援 / 鳥取県オーケストラ連盟、鳥取県吹奏楽連盟、県民による第九公演実行委員会、鷺見三郎顕彰事業実行委員会、鳥取県、鳥取市、岩美町、八頭町、若桜町、智頭町、鳥取県教育委員会、鳥取市教育委員会、岩美町教育委員会、八頭町教育委員会、若桜町教育委員会、智頭町教育委員会

2018年12月、伝説の公演が鳥取で生まれた。満場の会場に響いた“音の華” 鳴りやまない喝采—  
2020年10月、鳥取にふたたび舞い降りる奇跡の夜 甘美な音が導く、至福の時。

満席の梨花ホールを熱狂させた2018年の「開館25周年記念公演」から早くも再登場するパリ管弦楽団。今回は、トゥールーズ・キャピトル国立管、ポリショイ劇場の音楽監督を務めるほか、各国の名門オーケストラとの共演で世界的に熱い注目を集め、NHK交響楽団への定期的な客演で日本の音楽ファンにも馴染の深いトゥガン・ソヒエフが指揮。腕利き揃いの木管・金管楽器をはじめとする音色の豊かさと華やかさを特徴とし、“音の華”と称されるパリ管弦楽団の響きを、リニューアルする梨花ホールで心ゆくまでお楽しみください。



©Marco Borggreve

## パリ管弦楽団 Orchestre de Paris

◆ 世界の音楽史を築いてきたともいえる歴史を背景に、  
鮮やかな演奏で聴衆を魅了し続ける世界最高峰のオーケストラ

1828年に産声をあげたパリ音楽院演奏会協会を前身とするパリ管弦楽団は、1967年に初代音楽監督ミュンシュのもと誕生した。以来、カラヤン、ショルティ、バレンボイム、ピシュコフ、ドホナーニ、エッセンバッハ、P.ヤルヴィ、ハーディングがその任にあり、世界での指折りのオーケストラの地位を確立している。2015年に開館した新ホール、フィラルモニー・ド・パリのプリンシパル・レジデント・オーケストラであり、美しく豊富な音色を誇り、長きにわたる「フランス音楽の伝統の擁護者」である彼らは、メシアンやブーレーズらの作品初演はもとよりレジデント・コンポーザー制度で数多くの新作を紹介するなど、同時代の音楽についても大きな貢献をしてきた。アウトリーチや視聴覚メディアを通じた演奏など、きわめて多様なかたちで活動を広げ、現在は以前にも増して若い聴衆の開拓と育成に情熱を注いでいる。海外ツアーや録音も多い。

## トゥガン・ソヒエフ / 指揮 Tugan Sokhiev / Conductor

◆ 圧倒的な才能で音楽ファンをとりこにする、表現豊かで情熱的な指揮

国際的に高く評価されているロシア人指揮者。トゥールーズ・キャピトル国立管の芸術監督および、ポリショイ劇場の音楽監督・首席指揮者。2015/16年シーズンまでベルリン・ドイツ響の音楽監督でもあった。2005年にトゥールーズ・キャピトル管との演奏がフランス音楽批評家組合の「今年の音楽的発見」賞を受賞。数々のプロジェクトをこなす中で、彼は瞬間にオーケストラ、聴衆、批評家に卓越した音楽家であることを印象付けた。以来、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、コンセルトヘボウ管、シカゴ響、ボストン響、フィラデルフィア管、ロンドン響、ゲヴァントハウス管、サンタ・チェチーリア国立管、フランス国立管、N響などに客演し、マリンスキー劇場やメトロポリタン歌劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭でのオペラ指揮も多く、現代でも屈指の指揮者のひとりである。2016/17年シーズンにはポリショイ劇場で《ファウストの劫罰》《カルメン》《ムツェンスク郡のマクベス夫人》《ランスへの旅》などを指揮、またルツェルン・フェスティバルでウィーン・フィルに再び客演した。ソニー・クラシカルに録音したCDには、プロコフィエフの「イワン雷帝」「交響曲第5番/スキタイ組曲」などがある。



©Mat Hennek



©Polyarnaya

## ルーカス・ゲニューシヤス / ピアノ Lukas Geniušas / Piano

◆ 世界で最も威厳のあるコンクールで偉業を成し遂げ世界が注目!

1990年モスクワで音楽一家に生まれる。とりわけモスクワ音楽院の教授だった祖母のゴルノスターエワからは大きな影響を受けた。2010年のショパン・コンクールと2015年のチャイコフスキー・コンクールで両方第2位に輝いたほか、優勝や入賞は数多い。ゲルギエフ、プレトニョフ、デュトフ、ソヒエフらの指揮のもと、トロント響、フランス放送フィル、N響、サンクトペテルブルク・フィル、マリンスキー劇場管、クレメラータ・バルティカ、バーミンガム市響などと共演し、ウィグモアホールなど世界の主要ホールでリサイタルを開き、ルール・ピアノ・フェスティバル、ロッケンハウス音楽祭などの著名音楽祭に出演している。ゲニューシヤスのレパートリーは、ベートーヴェンのピアノ協奏曲はもとより、チャイコフスキー、ラフマニノフ、プロコフィエフらロシア人作曲家の作品のほか、ヒンデミットの「ルードウス・トナリス」を全曲弾きこなすなど、実に幅広い。録音では「ショパン：練習曲集全曲」、「ブラームス：ピアノ・ソナタ第1番/ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第29番「ハンマークラヴィエア」」などのほか、ヴァイオリンのブリッテンとの共演によるアルバムがあり、いずれも高い評価を得た。

### ◆ 先行販売…より早く!確実に!

- 1 財団友の会プレミアム会員先行販売 [年会費2,000円] ▶ 4/25(土)・26(日)
- 2 インターネット・チケットサービスWEB先行 [登録必要・無料] ▶ 4/27(月)~29(水・祝)
- 3 ローソンチケット先着先行 [WEBの場合登録必要・無料・座席指定不可] ▶ 5/1(金)~6(水)

詳細は、鳥取県文化振興財団のホームページまたは、  
とりぎん文化会館までお電話にてお問い合わせください。

### 鳥取県文化振興財団 インターネット・チケットサービス

インターネットでチケット購入が  
できます(利用登録必要)

■ 座席指定 ■ クレジット決済もOK



#### アクセス・駐車場

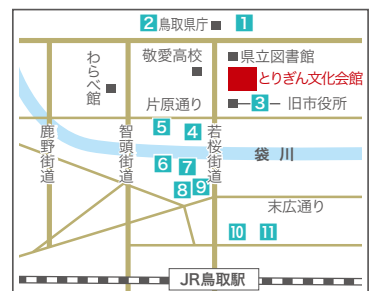
徒歩/JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ約20分  
バス/路線バス「県庁日赤前」下車(所要時間約5分)又は  
100円循環バスくる梨!「とりぎん文化会館」下車(所要時間約15分)

#### 駐車場のご案内

当館駐車場は、とりぎん文化会館、図書館、公文書館の共同無料駐車場です(ハートフル駐車場9台)。  
駐車台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。満車の場合は、P1鳥取県庁の地上・地下駐車場(無料・平日17:30~22:00)、P2北側駐車場(無料・24時間開放)のほか近隣の有料駐車場をご利用ください。



▶ 公演サイト



SNSにて最新情報をお届けしています!

www.torikenmin.jp

駐車場について…■とりぎん文化会館駐車場 1.鳥取県庁駐車場 2.鳥取県庁北側駐車場 3.尚徳町駐車場 4.タイムズ鳥取本町 5.鳥取市菅片原駐車場 6.本通りパーキング 7.日本観光センタービル駐車場 8.栄町有料駐車場 9.とっとり中央パーキング 10.タイムズ鳥取駅前 11.NPCパーキング